

評伝 アズナブル

A Critical Biography of Char Aznable

《赤い彗星》の軌跡

皆川ゆか

講談社文庫
講
文庫



講談社文庫

常州大学図書館
蔵書章
《赤い彗星》の軌跡

皆川ゆか

監修・サンライズ

講談社

著者 | 皆川ゆか 小説家。代表作として挙げられるライトノベル「運命のタロット」シリーズ（講談社X文庫）は、張り巡らされた伏線と緻密な構成で知られる。オリジナルの小説執筆以外にもノベライゼーション、評論、マンガ原作、企画など、多彩な活動を行う。ガンダム関係の著作としては、ノベライゼーションとして『機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINY』『新機動戦記ガンダムW外伝 右手に鎌を左手に君を』（ともに講談社文庫）がある。『機動戦士ガンダム公式百科事典 GUNDAM OFFICIALS U.C.0079~0083』（講談社）の編著者でもある。皆河有伽名義では、講談社創業100周年記念書き下ろし作品の『日本動画興亡史 小説手塚学校』（計2巻）などがある。

ひょうでん

評伝シャア・アズナブル 《赤い彗星》の軌跡

みなかわ

皆川ゆか

かんしりゅう

監修・サンライズ

© Yuka Minakawa 2012 / © 創通・サンライズ

2012年4月13日第1刷発行

2012年5月7日第2刷発行

発行者——鈴木 哲

発行所——株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21 〒112-8001

電話 出版部 (03) 5395-3510

販売部 (03) 5395-5817

業務部 (03) 5395-3615

Printed in Japan



講談社文庫

定価はカバーに表示してあります

デザイン——菊地信義

本文データ制作——講談社デジタル製作部

印刷——信毎書籍印刷株式会社

製本——株式会社国宝社

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社業務部あてにお送りください。送料は小社負担にてお取替えます。なお、この本の内容についてのお問い合わせは文庫出版部あてにお願いいたします。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

ISBN978-4-06-276878-8

CONTENTS

評伝シャア・アズナブル
—《赤い彗星》の軌跡—

Prologue

8

Chapter 01

15

認めたくないものだな……自分自身の、若さ故の過ちというものを

0079年9月18日 サイド7の宙域にて

Chapter 02

29

見せてもらおうか……連邦軍のモビルスーツの性能とやらを

0079年9月18日 サイド7の宙域にて

Chapter 03

49

どうもおぼっちゃん育ちが身にしみこみすぎる

0079年9月下旬 北米ミッド湖付近にて

Chapter 04

67

君はいい友人であったが、君の父上がいけないのだよ

0079年10月4日 北米シアトルにて

Chapter 05

89

私にも意地というものがあるのだな

0079年11月18日 北アイルランド・ベルファスト近海にて

Chapter 06

111

若者をいじめないでいただきたい

0079年12月上旬 サイド6 パルダ・ベイにて

Chapter 07

私にも悲しいことはあるのだよ……訊かないでくれるか

0079年12月上旬 テキサス・コロニーの宙域にて

Chapter 08

しかし、私はおまえの才能を愛しているだけだ

0079年12月下旬 テキサス・コロニーにて

Chapter 09

人は流れに乗ればいい……だから私は君を殺す

0079年12月31日 ア・バオア・クーにて

Chapter 10

ラアの魂は地球圏に漂っている 火星の向こうにはいないと思った

0087年5月上旬 北米サンフランシスコ近郊上空にて

Chapter 11

シャア・アズナブルという人のことを知っているかな

0087年3月上旬 グリーン・ノア2付近の宙域にて

Chapter 12

出資者は無理難題をおっしやる

0087年3月下旬から4月上旬 アンマンにて

Chapter 13

今の私はクワトロ・バジーナ大尉であって、それ以上でもそれ以下でもない

0087年5月22日 北米ケネディ宇宙基地にて

Chapter 14

君を喰^わいに来た……そういえば、君の気が済むのだろう

0087年5月下旬 北米サンフランシスコ近郊上空にて

Chapter 15

サボテンが花をつけている

0087年10月19日 宙域不明・〈アーガマ〉にて

Chapter 16

私はかつて、シャア・アズナブルという名で呼ばれたこともある男だ

0087年11月16日 ダカールにて

Chapter 17

これでいいなら安いものさ

0087年12月26日 宙域不明・〈アーガマ〉にて

Chapter 18

まだだ、まだ終わらんよ

0088年2月22日 L1の宙域・グリプス2にて

Chapter 19

私、シャア・アズナブルが肅清しようというのだ

0093年3月4日 5thルナにて

Chapter 20

ならば、今すぐ愚民どもすべてに叡智を授けてみせろ！

0093年3月6日 サイド1・ロンデニオンにて

Chapter 21

父の名前を継ぐのはつらいな……君のような支えがいる

0093年3月上旬 スウィート・ウォーターにて

Chapter 22

私は世直しなど考えていない

0093年3月12日 小惑星基地アクシズにて

Epilogue

宇宙世紀年表／シャア・アズナブル年譜

100万人のシャア・アズナブル

あとがき

解説 宇野常寛

註記・参考資料



講談社文庫

評伝シャア・アズナブル

《赤い彗星》の軌跡

皆川ゆか

監修・サンライズ

講談社

CONTENTS

評伝シャア・アズナブル
——《赤い彗星》の軌跡——

Prologue

8

Chapter 01

15

認めたくないものだな……自分自身の、若さ故の過ちというものを

0079年9月18日 サイド7の宙域にて

Chapter 02

29

見せてもらおうか……連邦軍のモビルスーツの性能とやらを

0079年9月18日 サイド7の宙域にて

Chapter 03

49

どうもおぼっちゃん育ちが身にしみこみすぎる

0079年9月下旬 北米ミッド湖付近にて

Chapter 04

67

君はいい友人であったが、君の父上がいけないのだよ

0079年10月4日 北米シアトルにて

Chapter 05

89

私にも意地というものがあるのにな

0079年11月18日 北アイルランド・ベルファスト近海にて

Chapter 06

111

若者をいじめないでいただきたい

0079年12月上旬 サイド6 パルダ・ベイにて

Chapter 07

私にも悲しいことはあるのだよ……訊かないでくれるか

0079年12月上旬 テキサス・コロニーの宙域にて

Chapter 08

しかし、私はおまえの才能を愛しているだけだ

0079年12月下旬 テキサス・コロニーにて

Chapter 09

人は流れに乗ればいい……だから私は君を殺す

0079年12月31日 ア・バオア・クーにて

Chapter 10

ラアの魂は地球圏に漂っている 火星の向こうにはいないと思った

0087年5月上旬 北米サンフランシスコ近郊上空にて

Chapter 11

シャア・アズナブルという人のことを知っているかな

0087年3月上旬 グリーン・ノア2付近の宙域にて

Chapter 12

出資者は無理難題をおっしやる

0087年3月下旬から4月上旬 アンマンにて

Chapter 13

今の私はクワトロ・バジーナ大尉であって、それ以上でもそれ以下でもない

0087年5月22日 北米ケネディ宇宙基地にて

Chapter 14

君を喰^わいに来た……そういえば、君の気が済むのだろう

0087年5月下旬 北米サンフランシスコ近郊上空にて

Chapter 15

サボテンが花をつけている

0087年10月19日 宙域不明・〈アーガマ〉にて

Chapter 16

私はかつて、シャア・アズナブルという名で呼ばれたこともある男だ

0087年11月16日 ダカールにて

Chapter 17

これでいいなら安いものさ

0087年12月26日 宙域不明・〈アーガマ〉にて

Chapter 18

まだだ、まだ終わらんよ

0088年2月22日 L1の宙域・グリプス2にて

Chapter 19

私、シャア・アズナブルが肅清しようというのだ

0093年3月4日 5thルナにて

Chapter 20

ならば、今すぐ愚民どもすべてに叡智を授けてみせろ！

0093年3月6日 サイド1・ロンデニオンにて

Chapter 21

父の名前を継ぐのはつらいな……君のような支えがいる

0093年3月上旬 スウィート・ウォーターにて

Chapter 22

私は世直しなど考えていない

0093年3月12日 小惑星基地アクシズにて

Epilogue

宇宙世紀年表／シャア・アズナブル年譜

100万人のシャア・アズナブル

あとがき

解説 宇野常寛

註記・参考資料

Prologue

一年戦争も末期のことである。

ジオン公国軍のキシリア・ザビ^{*2}少将は、乗艦であつたグワジン級大型戦艦「グワリブ」の自室へシャア・アズナブル大佐を招いた。

「どうした？ 座るがいい」と、すでにソファにあつたキシリアは、勧める。

シャアは彼女の言葉に従つた。緊張を隠せぬ様子で、動きはぎこちない。

ただ、向き合う形でソファに腰を下ろすや、目許を覆う仮面へ手を伸ばしていた。躊躇^{ためら}うさまはいささかもなかった。仮面はするりと外れ、シャア・アズナブルの面がキシリアの前に顕^{あら}わとなつた^{*4}。

この青年士官の素顔を目にしたキシリアは、「やはりな」と呟^{つぶや}き、「いわれてみれば、父上の面影がある」

と評した。彼女はわずかに小首を傾げ、微笑^{ほほえ}みすら浮かべていた。シャアは視線を揺るがすこともなく、キシリアの言に、「は

*1 0079年1月3日に開戦し、翌0080年1月1日に終戦を迎えた地球連邦とジオン公国の戦争は、今日ではその期間からこのように呼称されている。

*2 「キシリア・ザビ」(0055~0079・12・31)ザビ家の長女。公国軍少将。突撃機動軍司令。



*3 「グワジン級大型戦艦」無補給で火星と木星の間にあるアステロイドベルトまでの航行が可能。艦隊旗艦として、主にザビ家、あるいは特命を受けた将官が乗艦する。

い」と応じた。

公国の礎^{いしずえ}となつた革命家、ジオン・ダイクンの息子であることを認めたのだ。

「気づかぬものだ」キシリアは自嘲する。「だってそうだろ。キヤスバル・ダイクンとシャア・アズナブル……違いすぎる」

シャアは弟ガルマの士官学校からの友人でもある。キシリアは士官学校時代のビデオも見ていたはずだが、ザビ家のすぐそばにジオンの子のあることを気づかなかつた。

キシリアの弁にシャアは、目を逸^そらすかのように顔を伏せた。

「ドズル閣下から左遷されて、キシリアさまから呼ばれたときに、いつかこのようなきが来るとは思っておりましたが、いざとなると怖いものです」

彼は右の手を持ち上げ、「手の震えが止まりません」と、上目遣いにザビ家の女を見遣つた。

「わたしだってそうだ」

キシリアはいう。「おまえの素性を知ったときは、さすがに笑つたよ」

「お笑いになつた？」



*4 図版は19歳のシャアの素顔（0079年9月18日にサイド7を偵察した際、妹アルテイシアの求めに応じ、マスクを外した際のもの）。

